

○令和元年度教育事業

「体験の風キャンプin ゆーすぴあ（札幌編）」R2.1月16日（木）～18日（土）

◆目的

様々な課題を抱える青少年を対象に、自然体験等の活動を通じた「生活・自立」を支援する取組を行い、基本的な生活習慣の確立や自立する力を身に付けさせるとともに、成果を広く周知することを通して広く体験活動の普及を目的とします。

◆参加実績 参加者数：39名（引率者含む）

◆プログラム

オリエンテーション	施設の使い方を知ってもらい、子どもたちと交流の家職員間の緊張をほぐします。
スノーキャンドル作り・雪遊び	大雪のフィールドを生かし、寒さや雪を生かした遊びをします。パウダースノーを感じながら、雪で思い思いの作品を作ります。夜には、作ったアイスキャンドルに点火し、雪夜の幻想的な風景を楽しみます。
動物園ツアー	旭山動物園で冬ならではの動物の様子などを見学します。
思い出クラフト	大雪の思い出に残る写真を入れた『思い出アルバム』を作ります。
ゆったりタイム	体育館やホールなどで体を動かしたり、本を読んだりするゆったりする時間です。
スキー	自分の能力にあったコースを滑りながら、レベルアップを目指します。

◆成果

- いつもと違った場所・環境で過ごすことで、時間を守ることや挨拶をしっかりとしようという意識が芽生え、日を重ねる毎に成長が感じられた。
- つどいの中で役割があたることや、団体紹介の代わりに行った感想発表にも意欲的で、自分から挑戦したいという意欲が感じられた。
- スキー体験では、あまり技術に自信がないという児童が多くいたが、施設職員や友達からもたくさん褒められ、周りから認められる環境の中で、自己肯定感の高まりが感じられた。

◆参加者の声

- 友達と協力をしてスノーキャンドルを作ってみて、山が噴火したように予想して作ってみた。とても楽しかった。キャンドルを入れて遠くから見ると、光っている姿がとてもきれいだった。（小学生）
- 何かをやり遂げる力、想像力、努力する大切さ、責任感など、活動毎に身に付いたものがなにかしたらあったと思います。スタッフの方とコミュニケーションをとることで、社会性も身に付いたのではないかと思います。（施設職員）
- 苦手なことにも挑戦しようとする姿は、施設では見られない様子であったため、今回の体験が良いきっかけとなった。（施設職員）

◆事業運営のツボ・工夫・反省

- 体験の困難さを補いたいという施設のニーズを受け、企画・立案を行った。特に、長期休み明けにあるスキー授業に向けて、自信をもって活動に臨めるようにしたいということから、荒天時等も必ず実施できるような体制を整えた。
- 学校生活が始まる直前であったことを考慮し、時間を守ったり、挨拶をしたりするなど基本的な生活習慣が意識できるような働きかけを行った。自分たちで確認して動けるようにし、児童がより主体的に取り組むことができるよう配慮した。

◆事業運営費

・参加者食費	205,640円
・業務委託費	107,520円
・旅費	126,028円
合計	444,059円